

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
京都メディックス高専賃及び老健施設新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
				評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質									2.8
Q1 室内環境					0.40				2.9
1 音環境				1.8	0.15	2.7	1.00		2.0
1.1 騒音				1.0	0.40	3.0	0.40		
1 暗騒音レベル				1.0	1.00	3.0	1.00		
2 設備騒音対策				-	-	-	-		
1.2 遮音				3.0	0.40	3.3	0.40		
1 開口部遮音性能				3.0	0.69	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能				3.0	0.31	4.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20		
1.3 吸音				1.0	0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境				3.0	0.35	3.0	1.00		3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50		
1 室温設定				3.0	0.50	3.0	0.60		
2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-		
3 外皮性能				3.0	0.31	3.0	0.40		
4 ゾーン別制御性				3.0	0.19	3.0	-		
5 温度・湿度制御				-	-	-	-		
6 個別制御				-	-	-	-		
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-		
8 監視システム				-	-	-	-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境				3.3	0.25	3.3	1.00		3.3
3.1 昼光利用				3.0	0.30	3.0	0.30		
1 昼光率				3.0	0.60	3.0	0.55		
2 方位別開口				3.0	-	3.0	0.15		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.30		
3.2 グレア対策				4.0	0.30	4.0	0.30		
1 照明器具のグレア				-	-	-	-		
2 昼光制御		庇、外部ルーバー+カーテン		4.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15		
1 照度				3.0	1.00	3.0	1.00		
2 照度均斉度				-	-	-	-		
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境				3.2	0.25	3.0	1.00		3.1
4.1 発生源対策				3.0	0.55	3.0	0.63		
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0	1.00		
2 アスベスト対策				-	-	-	-		
3 ダニ・カビ等				-	-	-	-		
4 レジオネラ対策				-	-	-	-		
4.2 換気				3.0	0.35	3.0	0.38		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能				3.0	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33		
4 給気計画				-	-	-	-		
4.3 運用管理				5.0	0.10	-	-		
1 CO ₂ の監視				3.0	-	-	-		
2 喫煙の制御		基本的に全館禁煙建物		5.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		2.5
1 機能性				2.2	0.40	2.9	1.00		2.3
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.60	3.5	0.60		
1 広さ・収納性				3.0	-	4.0	0.52		
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	3.0	0.48		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	3.0	-		
1.2 心理性・快適性				1.0	0.40	2.0	0.40		
1 広さ感・景観				3.0	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				3.0	-	3.0	-		
3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理				-	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	-	-	-		
2 耐用性・信頼性				2.8	0.31	-	-		2.8
2.1 耐震・免震				3.0	0.48	-	-		
1 耐震性				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				2.7	0.33	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.23	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.09	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.15	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23	-	-		

2.3 適切な更新				-	-	-	-	
2.4 信頼性				2.8	0.19	-	-	
1	空調・換気設備			3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備			3.0	0.20	-	-	
3	電気設備			2.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備			3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				2.6	0.29	2.0	1.00	2.4
3.1 空間のゆとり				2.2	0.16	1.0	0.50	
1	階高のゆとり			1.0	0.60	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	建物全体の壁長さ比率0.28		4.0	0.40	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.16	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				2.6	0.68	-	-	
1	空調配管の更新性			2.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性			2.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性			3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性			3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性			3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース			3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.5	0.30	-	-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域性、景観を考慮したデザイン。広いポーチ。中庭		4.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.9
1 建物の熱負荷抑制		外壁における開口部の低減		4.0	0.35	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		エコキュート、エコアスの採用	ERR=34.6	4.8	0.35	-	-	4.8
4 効率的運用				3.0	0.10	-	-	3.0
4.1	モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護				3.0	0.15	-	-	3.0
1.1	節水			3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.83	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無			3.0	0.17	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.4	0.63	-	-	3.4
2.1	材料使用量の削減			3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.25	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.21	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	タイル、ビニル床タイル		4.0	0.21	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げが容易に分離可能		4.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.2	0.22	-	-	3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤未使用		4.0	0.33	-	-	
2	断熱材			3.0	0.33	-	-	
3	冷媒			3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	2.6
1 地球温暖化への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮				2.4	0.33	-	-	2.4
2.1	大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				2.4	0.33	-	-	2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1	騒音			3.0	0.50	-	-	
2	振動			3.0	0.50	-	-	
3	悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制				1.6	0.40	-	-	
1	風害の抑制			1.0	0.70	-	-	
2	日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	